



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 3月 4日

日本鉄道労働組合連合会

JR 連 合 中 国 地 協 「2022 春 闘 学 習 会」

グループ労組と一体となり春闘を闘い抜く

コロナ禍が続き厳しい情勢ではあるが、

JR産業にふさわしい労働条件を勝ち取る決意を改めて確認！

JR 連 合 中 国 地 方 協 議 会 は 2 月 28 日、米子市内で 2022 春闘学習会を開催した。会場には JR 西労組から岡山・米子・広島地本の各代表と、グループ労組からサービスネット岡山労組、後藤工業労組、中国メンテック労組の代表者も参加し、春闘を取り巻く情勢などについて理解を深めた。また、JR 西労組福岡地本の代表者もオブザーバーとして参加した。



主催者を代表して挨拶に立った大瀧浩二議長（JR 西労組・岡山地本委員長）は安全、2022 春闘勝利、取り巻く環境の変化への対応について述べ、本社・地方機関の見直しにより中国統括本部が設置されることでグループ会社を含めた業務内容の見直しが想定されることから、安全を最優先に課題提起を行っていく決意を語った。

来賓を代表して JR 西労組中央本部の上村良成委員長は挨拶の中で、去年は断念したベア要求を今春闘で行うに至った経緯について触れたほか、今春闘を取り巻く環境について、最新の状況を共有した。

学習会には JR 連合から、宮野勇馬企画部長が出席し、今次闘争方針のポイントと、重点的な取り組み、さらには加盟単組の



交渉を支えるために JR 連合として取り組んでいる各種課題について提起し、参加者から寄せられた多くの質疑に応えた。



最後に大川達也副議長（JR 西労組・米子地本委員長）は閉会の挨拶として、中国地協一丸となって 2022 春闘勝利に向け取り組む決意を述べ、閉会となった。